



かもすい通信

2026 夏号

Contents

- 館長のこぼなし
- News Topics
 - 加茂水族館リニューアルオープン特集
 - クラゲ採集に行ってきました
 - 第2回 雨空を泳ぐクラゲの傘フォトコンテスト 結果発表
 - かもすいリニューアル記念 三園館連携&FIGHT11 グリーティングイベント開催
 - 博物館法に基づく「登録博物館」に認定されました
- Research NEWS
 - ミズクラゲの日傘の販売を開始しました
 - クラゲ図鑑ができました
 - 飼育員の暴走シリーズ第10弾！
 - 軽食売店もリニューアル！
- できごと
- インフォメーション

アカクラゲ
Chrysaora pacifica

photo: Murai Takashi



東北エプソン
アクアリウム
TOHOKU EPSON AQUARIUM KAMOSUI

かもすい

忙しい。リニューアルオープンを迎え、日々今までと違う対応をせまられている。訪問客も多く案内説明取材対応と目白押しだ。こんな状況でもストレス解消と運動のため、高校の先輩と鳥海山一泊登山を計画。クマが怖いので単独行動は避けて山歩きをと山菜取りを楽しんでいます。しかし、ここで凡ミス。日にちを一日間違えていたのだ。「先輩ごめんなさい。今後気を付けます」。忙しさのせいに出来るのだろうか。それとも。(奥泉)

News Topics

加茂水族館、リニューアルオープン特集

2014年、クラゲ水族館として三代目の加茂水族館がオープンした。過去の経験から、十分な広さのクラゲ展示、研究所、レクチャールーム、バックヤードを作ったつもりでいた。それが、わずか3年ほどで見事に埋まってしまった。綺麗に整備した実習台は二段に改造され水槽置き場となり、レクチャールームは収納スペースを作ったため狭く使い難くなっていった。それは、良い展示を支えるために、より良くするために頑張った結果だった。



オープンしてから12年の時を経てクラゲ研究所が新築オープンを迎えることが出来た。飼育員が存分に腕を振るえるように十分な広さの研究所、3クラス対応のレクチャールーム、そしてクラゲの様々な側面を観察することが出来るマイクロアクアリウムを備え、既存棟の機能を移設した。跡地には大型の水槽6基を設置しエチゼンクラゲの大型クラゲの展示も可能となった。これらがすべて機能するには何年も掛かるかもしれない。ここが、伸びしろということか。(奥泉)



リニューアルオープンへのお祝いのメッセージをいただきました

2014 年 姉妹館盟約 締結

かごしま水族館 館長 佐々木 章

加茂水族館が「東北エプソンアクアリウムかもすい」として新たな一步を踏み出されたことを、心よりお祝い申し上げます。「クラゲ 100 種類の展示」の達成、ならびに研究・学習機能のさらなる強化は、長年にわたる飼育技術の成果であり、深く敬意を表します。世界一のクラゲ水族館としての魅力をさらに磨き上げ、これからもたくさんの方に癒やしと驚きを届ける素敵な水族館であり続けてください。ずっと応援しています！



2016 年 MOU 契約 締結

パリ水族館 President Alexis L. Powilewicz

On behalf of the Aquarium de Paris, I would like to warmly congratulate the entire Kamo Aquarium team on the remarkable renovation of your facilities and the opening of your outstanding new building. Your new jellyfish culture laboratory is a truly inspiring achievement, and the Kurage Bar, showcasing around 100 jellyfish species, is a unique demonstration of how science, innovation, and public engagement can come together. Tohoku Epson Aquarium Kamosui is our closest partner and constant support. We look forward to enhancing even further our collaboration towards jellyfish identification, research, conservation, and education. Congratulations on this exceptional milestone, and thank you for your continued inspiration and friendship.



2019 年 MOU 契約 締結

タイ・ブラパ大学 Director Bunlung Nuangsaeng, Ph.D.

I would like to extend my sincere congratulations and deepest appreciation to **Kamo Aquarium**, renowned worldwide for its outstanding jellyfish exhibits, on the successful renewal of its new jellyfish exhibition zone.

This remarkable development will provide valuable opportunities for education and public engagement, inspiring children, young people, and visitors of all ages to discover the beauty, diversity, and importance of marine life. It will also serve as an excellent platform for scientific research, knowledge exchange, and the development of academic and research networks with the **Institute of Marine Science, Burapha University**, Thailand, other educational and research institutions, and aquariums around the world.

May Kamo Aquarium achieve continued success in all its endeavors and remain a leading center of marine education, research, conservation, and public inspiration—creating lasting benefits for the people of Japan and communities around the world for generations to come.

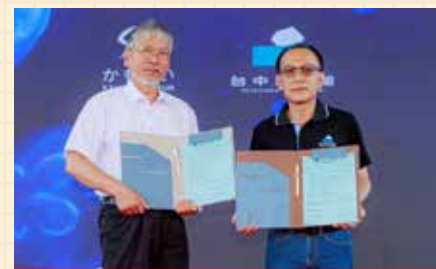


2024・2025 年 MOU 契約 締結

国立海洋生物博物館・台中海洋館 総経理 何曉光

貴館におかれましては、このたび改修工事が滞りなく完了し、盛大にリニューアルオープンを迎えられましたこと、謹んでお祝い申し上げます。今回の整備により、世界的にも稀少なクラゲ展示のさらなる拡充が図られ、あわせてクラゲ育種研究の高度化ならびに海洋教育における体験的学習の深化が実現され、水族館展示の発展に新たな一頁を開くものと、深甚なる敬意を表する次第でございます。

長年にわたり、双方は度重なる交流と協力を通じて、揺るぎない友好関係を築いてまいりました。今後ともこの良好な関係を一層強化し、海洋展示教育の更なる向上と新たな価値創造に向け、共に歩みを進められますことを切に期待申し上げます。



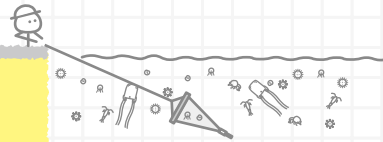
Let's go to the jellyfish research!!

クラゲ採集に行ってきました

加茂水族館ではクラゲの展示をより充実させるために定期的な調査を行っています。

～クラゲ調査で訪れた地点～

2026年 4月 関西 5月 北海道・静岡県・5月 北海道



関西地方

データ

日時：2026年4月13日～4月16日

採集方法：目視・プランクトンネットで採集 水温：16.5～17.5℃

徳島県鳴門市・兵庫県淡路島

関西方面にクラゲの採集に行きました。目星をつけた漁港をいくつかまわりましたが、クラゲの多い時期には少し遅かったようで、アカクラゲが少し見られただけでした。

京都府舞鶴市

同じ関西地方でも日本海側はクラゲの発生が少し遅い傾向にあります。そこで舞鶴に移動。思惑通り、アカクラゲ、ミズクラゲ、カミクラゲ、エダアシクラゲ、オワンクラゲ、カギノテクラゲ、ヒトツクラゲ、ツノクラゲ、ウリクラゲなど、クラゲがいっぱいでした。(村井)



▲ アカクラゲ

北海道

データ

日時：2026年5月20日～5月23日

採集方法：プランクトンネット・柄杓で採集 水温：9～12℃

北海道網走市にてクラゲ採集を行いました。

網走市は昨年も訪れ、大量のクラゲを採集できた聖地のような場所です。期待に胸を膨らませながら採集ポイントに向かいましたが、思いの外クラゲの数が少なく感じました。とはいえ一面にキタカブトクラゲが漂っているのに少なく感じるとは贅沢な話です。

終わってみればシンカイウリクラゲやキタユウレイクラゲ、ヤナギクラゲなど大きめのクラゲから、シミコクラゲやカタアシクラゲモドキなどの小さなクラゲまで20種類ほど確認することができました。

これだけクラゲがとれると、時間が立つのも忘れて採集に夢中になってしまいます。しかしながら特に狙っていたクラゲはあまり出会うことができず…。これだけのクラゲがいても物足りなく感じてしまうのはクラゲの宝庫である網走に感覚が麻痺しているのかもしれません。(久保)



軟クラゲ目の1種 ▲



▲ シンカイウリクラゲ

静岡



データ

日時：2026年5月25日～5月28日

採集方法：プランクトンネット・柄杓・スキューバダイビングで採集

水温：21～22℃

5月25日から28日にかけて静岡県の伊豆半島でクラゲ採集をしてきました。今回の目的は2つでクラゲ採集はもちろんですが、潜水講習を受講してきました。なぜ加茂水族館が潜水？と思う方もいるかもしれません。もちろんクラゲを採集するためです。今回は潜水経験のある2名のスタッフが受講しスキルのチェックなどを行いました。今後は加茂水族館周辺での潜水採集にも力を入れていきます。

肝心のクラゲ採集は、講習の合間ではありましたがニチリンクラゲやツツミクラゲ、フウリンクラゲなど10種類以上のクラゲを採集する事ができました。また、この時期は夜光虫と呼ばれるプランクトンが大量発生する赤潮が発生しており、海一面が真っ赤で、ネットを曳くと夜光虫とニチリンクラゲだらけでした。今回、講習中にクラゲがどのようなエサを食べているかなども観察できたのでこれからの飼育に活かしていきます。潜水中はフウリンクラゲに刺されていたようで肌が露出している顔まわりがチクチクとし、痛かったです。(玉田)



▲ ゴマフウセンクラゲモドキ



▲ 採集の様子



▲ フウリンクラゲ

北海道



データ

日時：2026年6月15日～6月17日

採集方法：手で採集 水温：14～15℃

6月に北海道へ十文字クラゲの仲間の採集に行ってきました！

当館ではまだ長期飼育が難しく季節的な展示となっている種です。

このクラゲたちは海藻にくっついて生活します。図鑑にもそう書いてあり、飼育している時も何かにくっ付く様子は確認していました。しかし、海にいる時の姿を見たことがなく今回の採集で初めて実際の様子を見ることができました。

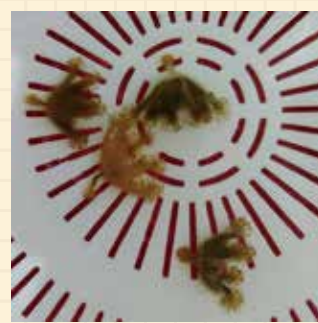
潮の干満差で、干潮時には数時間干上がった状態にあり海藻類も水から出てしまうため折り重なるとかなりの重量になり、体がやわらかいクラゲは潰れてしまいそうです。満潮につれてクラゲより小さい微小なゴミが流れてきたり底砂が舞い上がっては降りかかっていて、予想以上に過酷な環境だと感じました。クラゲ以外にも多くの生物が見られ藻場という環境の豊かさを実感しました。目的のアサガオクラゲとヒガサクラゲは採集できたものの、展示は終了してしまいましたが、この経験を飼育に活かしていきたいと思います。(廣瀬)



▲ 海藻の多さにびっくり！



▲ 海藻の中をよく見るといます



▲ ヒガサクラゲ

第2回 雨空を泳ぐクラゲの傘フォトコンテスト 結果発表

グランプリ



応募者名：にゅうろん さん

加茂水族館館長賞



応募者名：Makoto Yoshida さん

フェリシモ賞



応募者名：弥桜 さん

2025年7月6日～10月31日に開催しました「第2回雨空を泳ぐクラゲの傘 フォトコンテスト」の受賞作品をHPにて公開しました。

2020年に実施した第1回フォトコンテストから5年ぶりの開催となりましたが、今回も多くのご応募をいただき、クラゲ傘が長く愛され続けていることを改めて実感しました。応募作品はいずれも魅力的で、選考は難航しましたが、その中でも審査員の心に強く響いた作品を受賞作として選出しました。特に、グランプリ作品は、開発者が「こういう風に楽しんでほしかった」と思えるものでした。受賞作品は、2026年8月まで加茂水族館館内にて展示を行いました。(菅野)

かもすいリニューアル記念 三園館連携&FIGHT11 グリーティングイベント開催

加茂水族館は水族館・動物園連携の「三園館連携」(秋田・山形)と「FIGHT11」(北関東・南東北)に加盟しています。それぞれでPRイベントやキャラバンを行うことがありますが、今回かもすいもリニューアルしたことだし、せっかくだから両方とも一緒にイベントできたら面白いんじゃない！？ということで開催したグリーティングイベントでした。広くなった新生レクチャールームで各園館のキャラクターとのふれあいを行いました。クラゲ展示室にまで飛び出して、来館者の皆さまにも大喜びしていただきました。(渡辺)



▲ イベントでの様子

博物館法に基づく「登録博物館」に認定されました

過去(1936年)の記録によると、当時の全国の博物館の集會に東北から6人の参加があり、そのうちの3人が山形縣水族館(後の加茂水族館)からでした。当時、山形縣水族館は博物館の立場で運営されていたことが想像できます。戦後、博物館が登録制度になり加茂水族館は一度も登録することがありませんでしたが、近年の博物館法改正をきっかけに、博物館法に基づく「登録博物館」に登録申請を行い、認定されました。今後は、登録博物館として使命を果たすべく、世界一のクラゲの種類を展示する水族館として様々な活動に力を入れていきます。(奥泉)



▲「登録博物館等マーク」プレート・証書

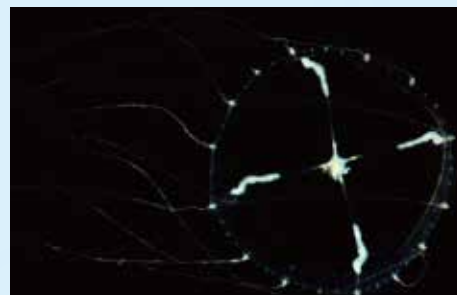
【登録博物館としての責任を果たすために掲げる取組目標】

1. 研究施設として世界一のクラゲ展示種類数を維持するための研究を行います
1. 保全施設として庄内の水生生物及び自然環境保護の啓発活動に努めます
1. 教育施設として海洋教育及び鶴岡の文化・歴史・産業の紹介に努めます
1. 観光施設として常に魅力アップに心がけ交流人口の拡大に努め地元貢献します

Research NEWS

世界初！アマノガワクラゲ展示

2026年3月20日に九十九島水族館海きらら、周防大島町なぎさ水族館とともに、アマノガワクラゲを世界で初めて展示を開始しました(加茂水族館はリニューアル工事中のため、4月1日から展示) アマノガワクラゲは福山大学の泉貴人講師らと一緒に共同研究し、2026年に2月に新種記載されました。泉講師が形態観察および遺伝子解析をして厳密な同定を行い、水族館チームは標本生物や飼育データなどを貢献して論文をまとめました。大学と水族館が連携したからこそできた功績であり、今後もこの連携体制を続けていきたいと思っています。(池田 周)



雑誌名 ZooKeys (2026年2月26日掲載)
論文タイトル Discoveries from ornamental jellyfish in aquaria—description of *Malagazzia michelin* sp. nov. (Cnidaria, Hydrozoa, Leptothecata), second species of the genus from Japan
著者 Takato Izumi, Shuhei Ikeda, Yuichi Nozoe, Sota Goto, Natsumi Imamura, Tadaaki Kinoshita, Hiroaki Uchida, Yoshimi Hamatsu, Hisashi Akiyama, Kazuya Okuizumi

共同研究が 国際学術誌に掲載されました

海の表面を漂う群体動物「ギンカクラゲ」について最長21日間の飼育に成功し、その成長記録を解析することで、ギンカクラゲが過酷な海表面で数年にわたって生存することを予測しました。

野生では長生きしますが、水族館に搬入するとまだ短期間しか飼育できません。今後、長期飼育に挑戦していきながらギンカクラゲの謎を解明していきたいです。(玉田)



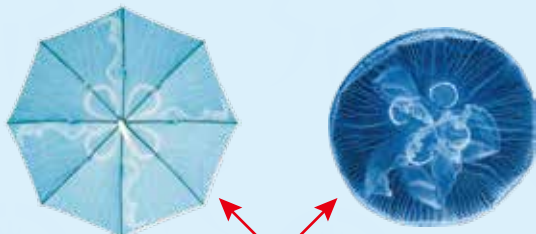
雑誌名 Scientific Reports (2026年5月20日掲載)
論文タイトル A neustonic hydrozoan *Porphita porpita* drifts for over a year
著者 Daiki Wakita, Kaho Murai, Gaku Yamamoto, Ryota Tamada, Hisanori Kohtsuka, Kohei Oguchi

ミズクラゲの日傘の販売を開始しました

加茂水族館とフェリシモのコラボ商品第2弾として、「青空を泳ぐ ミズクラゲの日傘」〈晴雨兼用〉の販売を開始しました。前回のクラゲの雨傘を販売したところ、「日傘も欲しい!」という声を複数いただきましたことから開発に至りました。

透明感のあるビニール傘と違い、日傘でクラゲらしさを表現するのは難しい面もありましたが、透明でないことを逆手にとってクラゲの裏側の口腕を再現することにしました。UV カット率・遮光率 99%以上で日傘としての性能も十分です。

晴れの日はもちろん、雨の日にも使用できる〈晴雨兼用〉タイプです。(菅野)



裏側はミズクラゲの口腕を再現!



▲ 晴れの日もクラゲと一緒に



クラゲ図鑑が できました

出版社：家の光協会
定 価：1800円(＋税)
発行日：2026.04.16
ページ数：176ページ
I S B N：9784259568696

2026 年 4 月 16 日に加茂水族館が著者であるクラゲ図鑑が刊行しました。加茂水族館が著者の書籍は今回が 3 冊目です。この図鑑では各種クラゲの生活史(成体・ポリプ・稚クラゲ)を紹介していて、その種は 100 種類以上です。実際に水族館で図鑑を見ながらより一層クラゲについて学んでもらえるような書籍になればと思います。(玉田)

飼育員の暴走シリーズ第 10 弾!



カブトクラゲを大きな口で丸飲みにするシンカイウリクラゲ。そんなクラゲに食べられながらお昼寝できる腕枕が完成しました! 櫛板の煌めきや可愛いお尻、口の形など細部にまでこだわっています。当館オフィシャルショップ「海月灯り」にて販売中です♪(鈴木)

軽食売店もリニューアル!



可愛くりニューアルした、アイスクリーム屋さん。

現在はクラゲアイスとクラゲソフトを販売しています。クラゲアイスは5種類ほどのお味から選べます。好きなアイスを選んでクラゲの食感を味わってもらえたら嬉しいです。またソフトはクラゲのトッピングはもちろんですが、クラゲ以外の可愛いお菓子もその都度変えているので、楽しみにしてください。

今後もワクワクするような『クラゲ○○』を考えていきますので、お楽しみに!!
(飯野)



▲ クラゲアイス・クラゲソフト

- 4 月 1 日 ● 加茂水族館 リニューアルオープン 新研究棟「T-JERI」増設
- ネーミングライツ・パートナーの決定により通称が「東北エプソンアクアリウムかもすい」となる
- スマホスタンプラリー「ととのうやまがた春のとまてめぐってキャンペーン」を実施。やまがた観光キャンペーン推進協議会主催。(～5 月 31 日)
- 加茂水族館のクラゲたち(スクエアクッキー)・カステラせんべい・環境に優しいボールペン販売開始
- アマノガワクラゲを世界初展示(九十九島水族館海きらら、周防大島町なぎさ水族館の 3 館共同)
- アンバーキャノンボール(仮称)・コレナ(仮称)・メキシカンシーネットル(仮称)を日本初展示

- 4 月 7 日 ● クルトガクラゲ販売開始
- 4 月 12 日 ● 兵庫県・京都府・徳島県でクラゲ採集(～4 月 16 日)
- フランス寿司大会 出席(～4 月 17 日)
- 4 月 15 日 ● JAZA 関東東北・北海道ブロック園長会議 出席(～4 月 16 日)
- アクリルクリアおももり 販売開始
- 4 月 19 日 ● かもすいリニューアル記念 三園館連携&FIGHT11 グリーティングイベント 開催
- 4 月 24 日 ● リニューアル記念 オリジナルフレーム切手 贈呈式
- 4 月 28 日 ● フグ供養祭 出席(～4 月 30 日)



- 5 月 2 日 ● ガラスのお皿(ミズクラゲ) 販売開始
- 5 月 8 日 ● 館長講演 北海道・東北ブロック報道局長会
- 5 月 10 日 ● 山形県源流の森オープニングイベント。出張クラゲ展示と海ごみワークショップを実施。
- 5 月 12 日 ● 第 5 回丸河豚技術大会 参加
- メタリックマグネット 4 種類 販売開始
- 5 月 14 日 ● クラゲ学習会 鶴岡市立第三中特別支援学級 13 名参加
- 5 月 17 日 ● JAZA 通常総会 出席(～5 月 19 日)
- わくわくクラゲサイエンス特別編「春季クラゲ採集・分類体験会」 24 名参加
- 5 月 20 日 ● 北海道でクラゲ採集(～5 月 23 日)
- 共著論文が国際学術誌「Scientific Reports」に掲載される「A neustonic hydrozoan Porpita porpita drifts for over a year」
- 海ごみ学習会 鶴岡市立鶴岡第一中学校特別支援学級 17 名参加
- 5 月 21 日 ● 博物館法に基づく「登録博物館」に認定
- 5 月 24 日 ● みんなの那珂川プロジェクト 参加
- 5 月 25 日 ● 静岡県でクラゲ採集・潜水講習(～5 月 28 日)
- 5 月 28 日 ● 館長講演 共同通信 仙台さくらぎ 5 月例会
- 5 月 29 日 ● 鶴岡ごみゼロ大作戦 由良海岸に参加。ごみ拾い活動参加・海ごみ学習会を実施。
- 第 20 回恋人の聖地プロポーズの言葉コンテスト 2026 開催。NPO 法人地域活性化支援センター主催。(～7 月 31 日)
- 5 月 30 日 ● ブラザの座学 vol.27 トーク&ジャズライブ 加茂水族館のクラゲ〜クラゲの華麗なる正体〜。川西町フレンドリープラザ主催の体験講座シリーズ。館長の講演とジャズコンサートを開催。
- 5 月 31 日 ● 海ごみワークショップ in かもすい 〜レジンアクセサリー制作編〜 10 名参加



- 6 月 5 日 ● 館長講演 加茂水産高校
- 6 月 7 日 ● わくわくクラゲサイエンス 13 名参加
- 基礎生物学研究所 神経行動学研究部門 城倉 圭 研究員が共同研究のために水族館に訪問(～6 月 14 日)
- 6 月 12 日 ● クラゲ学習会 新庄市立升形小学校・本合海小学校 6 名参加
- 6 月 14 日 ● みんなでビーチクリーン 湯野浜海岸にて、ビーチクリーン活動を行う。9 名参加
- アクリル年パスホルダー販売開始
- 6 月 15 日 ● 北海道でクラゲ採集(～6 月 17 日)
- 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 清水正宏 博士、九州大学 芸術工学研究院 伊藤浩史 博士が共同研究のために水族館に訪問(～6 月 17 日)
- 6 月 17 日 ● 飼育員の暴走シリーズ第 10 弾!「おひるねシンカイウリクラゲ」販売開始
- 6 月 18 日 ● JAZA 関東東北・北海道ブロック動物園技術者研究会 出席(～6 月 19 日)
- 欧州寿司チャンピオン × 須田料理長「夢の競演」2Days 特別イベント 開催
- 6 月 20 日 ● 北里大学海洋生命科学部 共同開催 マリンサイエンスセミナー 2026。北里大学教授による「海の生命科学」についての講演を実施。
- 6 月 22 日 ● クラゲ学習会 鶴岡市立朝陽第一小学校 77 名参加
- Cardiff University Tomasz Jurkowski 博士が共同研究のために水族館に訪問(～6 月 25 日)
- 6 月 25 日 ● 海ごみ学習会 鶴岡市立湯野浜小学校 16 名参加
- 夏メロン日本一キャンペーン 庄内砂丘メロンを PR。「食の都庄内」ブランド戦略会議主催(～9 月 14 日)
- 6 月 26 日 ● クラゲ学習会 鶴岡市立大山小学校 55 名参加
- 6 月 27 日 ● 館長講演 ネイチャートーク【華麗なるクラゲの正体】 長岡市立科学博物館主催
- <障がい者対象開館後イベント> ゆっくり水族館 実施
- クラゲ学習会 三川町立押切小学校保護者 61 名参加
- 6 月 28 日 ● わくわくクラゲサイエンス特別編「カギノテクラゲ採集とクラゲ学習会」15 名参加
- 避難訓練 実施
- 6 月 30 日 ● クラゲイラストフレフレッシュ販売開始



イベントスケジュール

★…定員あり

クラゲのおはなし

🕒 約 20 分



10:00
15:00

クラゲの不思議な生態を解説します。

バックヤードツアー〔有料★〕

🕒 約 20 分

9:30 / 10:30 / 11:30 / 12:30
13:30 / 14:30 / 15:30

水族館の裏側を案内します。各時間の指定されたコースから選ぶことができます。どのコースかはその日のお楽しみ♪

※諸事情により休止する場合もございます。
また、上記以外の時間に開催する場合もございます。

ひれあしの時間

🕒 約 15 分



11:00
14:00

アシカやアザラシ（ひれあし類）の特徴などを解説します。



クラゲドリームシアター 編

アザラシに餌やり体験〔有料★〕

🕒 約 10 分



ひれあしの時間後にアザラシに餌を投げて与えることができます。



魚類飼育場 編



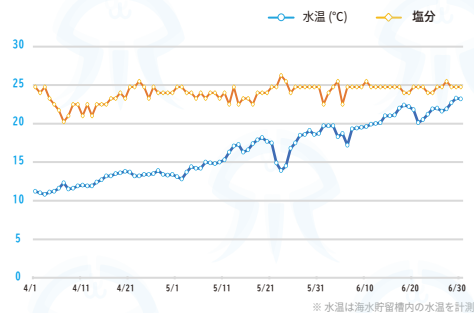
クラゲ研究棟 編

※天候や動物の状況により、中止 変更する場合がございます

詳しくはHPをご覧ください

加茂の水質

2026 年 4 月～ 6 月



磯情報



カサゴ

岩礁帯や漁港などでよく見られる。釣りのターゲットとしてもポピュラーで、小型のルアーや切り身など餌を使って初心者でも狙いやすい。



ホシヤドカリ

磯場でよく見られるヤドカリで、脚の先端が白くなっているのが見分けるポイントの1つ。よく見ていると、別の貝殻への引っ越しの様子も観察できる。

かもすい通信 Vol.3 No.2 2026 年 8 月発行 (通号 9 号)

●発行 鶴岡市立加茂水族館 〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / TEL 0235-33-3036

●編集 玉田亮太

●動物取扱業に関する表示

代表者氏名：鶴岡市 市長 佐藤聡 / 事業所の名称：鶴岡市立加茂水族館

事業所の住所：〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / 登録に係る第一種動物取扱業の種別：展示

動物取扱責任者：吉見則夫 / 登録番号：庄保 26 展第 1 号 / 登録の年月日：平成 26 年 5 月 26 日 / 有効期間の末日：令和 11 年 5 月 25 日

<https://kamo-kurage.jp>



東北エプソン
アクアリウム
かもすい
TOHOKU EPSON AQUARIUM KAMOSUI

最新情報は SNS をチェック♪



本誌の掲載記事、写真等の無断複写・複製転載を禁じます